

小ロット製造代行業界のリーディングカンパニー

製造業

3DCADの積極活用で多品種小ロット生産を飛躍

(株)三松

筑紫野市岡田に本拠地を構える(株)三松(安岡貞勝社長)。精密板金(シートメタル加工)や合板アルミ、ステンレスなどの機械加工、溶接、塗装、組み立てまでを一貫して手掛けてきた会社だ。近年は、液晶・半導体装置部品などの製造比率が高まっている。

業界初の3DCAD連動溶接ロボットを共同開発

今年2月に業界初の3DCAD連動溶接ロボットを導入した。実は1年ほど前から、3DCADメーカーや産業用ロボットメーカーと共同開発してきたものだ。

産業ロボットには、作業工程や溶接位置などを記憶させるティーチングという作業が必要になる。従来は実際の作業工程をトレースさせ、加工物の固定位置やアームの角度を微調整し、生産開始まで

には1~2日ほど要したという。これでは、同社のように多品種小ロット生産をする場合には、多大なロスを生んでしまう。新開発した溶接ロボットでは、3DCADと連



業界初の3DCAD連動の溶接ロボット。アーム部は2mのレール上を移動し加工物固定台も角度が変わる



本社工場の屋根に設置した太陽光発電システムで電力消費量の約10%をまかなう



安岡 貞勝 社長
1950年3月18日
生まれの56歳。
筑紫野市出身。
福岡大学経済学部卒

動することで、パソコンのプログラム上でティーチングができるようになった。画像確認しながらバーチャルで進行可能で、加工物の形状や作業工程にもよるが、約1時間で終了するという。これで工場内の省人化や納期短縮が図れ、小ロット製造代行サービス業者としての魅力が圧倒的に増す。

太陽光発電システム導入、関連商材製造へ

また、3月には約4,000万円を投じ、本社工場に約50kwの太陽光発電装置を導入した。本社工場での電力消費量の約10%を補う。さらに電力消費量のピーク値を抑えることで、デマンドカットによる電気の基本料金削減も狙う。

同時に、この設置実績を基に、工場など法人向けに、太陽光発電パネル用フレームなど据付部材の製造も開始する。一般家庭とは違い、屋根の形状が案件ごとに異なるため、電気工事業者などが受注

案件ごとに設計し、製造委託するのが一般的だった。設計から一貫して請け負い、工事業者側の負担を軽減しようというわけだ。特に九州は国内でも日照時間が長く、他地域に比べ太陽光発電システムの導入は多いという。

これまで塗装の脱脂に必要な浄化槽などの設備や工程などを整備していたが、昨年11月にISO14001を取得し、名実共に環境配慮の行き届いた製造業となった。PRもさることながら、新規事業としての期待も高い。まずは年間1億円、売上比率5%を目指す。

企業 DATA

株式会社三松

〔所在地〕〒818-0013 筑紫野市岡田3-10-9
〔TEL〕092-926-4711
〔FAX〕092-926-2048
〔設立〕1972年3月 〔資本金〕8,500万円
〔事業〕住宅部材、液晶・半導体装置部品、食品加工機械部品、ダクト、空調機器などの製造
〔年商〕20億円(05年6月期)
〔代表者〕安岡貞勝 〔従業員〕95人
〔出先(工場)〕本社工場<筑紫野市>
夜須工場<朝倉郡筑前町>
〔URL〕http://www.sanmatsu.com